

環境報告ガイドライン*2018年版対照表

環境報告ガイドライン2018年版		ガイドライン各報告事項	本報告書	
			ページ	該当箇所
第1章 環境報告の 基礎情報	1. 環境報告の基本的要件	報告対象組織	P1	編集方針
		報告対象期間	P1	編集方針
		基準・ガイドライン等	P1	編集方針
		環境報告の全体像	P1 P62	編集方針 その他の主な公表資料
	2. 主な実績評価指標の推移	主な実績評価指標の推移	P36	環境実績データ
第2章 環境報告の 記載事項	1. 経営責任者の コミットメント	重要な環境課題への対応に関する 経営責任者のコミットメント	P2	トップコミットメント
	2. ガバナンス	事業者のガバナンス体制	P10	環境マネジメント体制
		重要な環境課題の管理責任者	P7 P10	環境管理責任者からのメッセージ 環境マネジメント体制
		重要な環境課題の管理における取締役会及び 経営業務執行組織の役割	P10	環境マネジメント体制
	3. ステークホルダー エンゲージメントの状況	ステークホルダーへの対応方針	P8-9 P10	URの環境に関する考え方 ステークホルダーとの対話
		実施したステークホルダーエンゲージメントの 概要	P10	ステークホルダーとの対話
	4. リスクマネジメント	リスクの特定、評価及び対応方法	P11	URのバリューチェーンにおける環境への影響範囲
		上記の方法の全社的なリスクマネジメントに おける位置付け	P12	重要な環境課題と環境配慮方針等との関係性の整理
	5. ビジネスモデル	事業者のビジネスモデル	P5	価値創造ストーリー
	6. バリューチェーン マネジメント	バリューチェーンの概要	P11	URのバリューチェーンにおける環境への影響範囲
		グリーン調達の方針、目標・実績	P19-29	資源循環
		環境配慮製品・サービスの状況	P19-29	資源循環
	7. 長期ビジョン	長期ビジョン	P2 P7 P8-9	トップコミットメント 環境管理責任者からのメッセージ URの環境に関する考え方
		長期ビジョンの設定期間	P8-9	URの環境に関する考え方
		その期間を選択した理由	P8-9	URの環境に関する考え方
	8. 戦略	持続可能な社会の実現に向けた 事業者の事業戦略	P10	環境戦略
	9. 重要な環境課題の 特定方法	事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	P11-12	重要な環境課題への対応
		特定した重要な環境課題のリスト	P11-12	重要な環境課題への対応
		特定した環境課題を重要であると判断した理由	P11-12	重要な環境課題への対応
		重要な環境課題のバウンダリー	P11-12	重要な環境課題への対応
10. 事業者の重要な 環境課題	取組み方針・行動計画	P11-12	重要な環境課題への対応	
	実績評価指標による取組み目標と取組み実績	P7-12 P14-36	環境マネジメント 環境活動	
	実績評価指標の算定方法	P14-18 P19-29	地球温暖化対策 資源循環	
	実績評価指標の集計範囲	P14-18 P19-29	地球温暖化対策 資源循環	
	リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、 それらの影響額と算定方法	—		
	報告事項に独立した第三者による保証が 付与されている場合は、その保証報告書	P58	本報告書に対する有識者意見	

*環境省が公表しているガイドラインで、企業等が公表する環境報告に関する報告指針を示したもの